2026 年 8 月 24-30 日

65 番の歌 進歩し続けよう

野外奉仕グループで仲間と密に働く

「*私は心からエホバを賛美する。集まった正直な人の中で*」。詩編 111:1

ポイント：野外奉仕グループの仲間と密に働くと，どんないいことがあるでしょうか。

1-2. 兄弟姉妹は野外奉仕グループについてどう感じていますか。

伝道者になった時のことを覚えていますか。エホバを賛美する世界中の仲間と一緒に，良い知らせを伝えられるようになりました。（詩 148:1，2 **ヤハを賛美せよ**(*)！ 天からエホバを賛美せよ。 高い所で神を賛美せよ。 2 **神の天使は皆**，神を賛美せよ。 神の軍隊は皆，神を賛美せよ。，12，13 少年も少女も， 年を取った人も若い人も。 13 皆がエホバの名を賛美せよ。 神の名は最も高く，誰も届かない。 神の威光は地と天の上にある。）それだけではなく，比較的小さな**野外奉仕グループ**にも加わりました。野外奉仕グループは「世界中で」王国の良い知らせを伝える上で大切な役割を果たしています。（マタ 24:14 そして，王国の良い知らせは，全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。）

2 野外奉仕グループがあって良かった，と思っている兄弟姉妹がたくさんいます。例えばウェンディー*一部の名前は変えてあります。姉妹はこう言っています。「野外奉仕グループのみんなのおかげで，上手に伝道できるようになったと思います。目標を立てて，それに向かって頑張るよう助けてもらいました。いい友達もできました」。グループ監督のリッチ兄弟はこう言っています。「聖書レッスン生をバプテスマまで助けられるとしたら素晴らしいですが，みんながそういう経験ができるわけではありません。でも，グループ監督はバプテスマを受けた人がその後もずっと成長していけるようサポートできます。本当にやりがいのある奉仕です」。ダイナ姉妹はこう言います。「野外奉仕グループに感謝しています。みんな本当の家族みたいです」。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 この記事では，次のようなことを考えます。①グループ監督と補佐にはどんな**役割**があり，どんなふうに兄弟姉妹を**サポート**するか。②私たち一人一人はどのように野外奉仕グループに貢献できるか。③野外奉仕グループの仲間と密に働くとどんないいことがあるか。

グループ監督と補佐

4. （ア）グループ監督にはどんな責任がありますか。（イ）グループ監督は兄弟姉妹のためにどんなことをしますか。（「グループ監督にできること」の囲みを参照。）

4 グループ監督として奉仕する長老*長老がいない場合，一時的に援助奉仕者がその役割を果たすこともあります。その兄弟は会衆の中で監督として働くわけではないので，グループ監督ではなく**グループ援助者**と呼ばれます。**長老たちによく相談しながら働き**ます。は，長老団が選びます。グループ監督は，グループの兄弟姉妹がエホバとの絆を強め，上手に伝道できるようにサポートします。そのためにどんなことをするでしょうか。①つ目に，***グループの一人一人によく気を配ります***。（格 27:23 自分の**羊の群れの様子**を**よく知って**おくべきである。 **羊をよく世話**しなさい(*に心を留めなさい/に注意を払いなさい)。）グループの人たちと日頃から連絡を取り合い，様子をよく知るようにします。エホバとの絆を守れるように励まし，困っていることや悩んでいることがあれば力になります。（格 12:25 **心配事**があると**心が沈**み(*憂鬱になり)， **良い言葉**によって**心が晴れる**。イザ 32:2 彼らはおのおの，**風から逃れるための場所**， **暴風雨から避難するための場所**， **水のない土地に流れる水**， **乾き切った土地にある大岩の陰**のようになる。ヤコ 2:15-17 兄弟や姉妹が，**着る物を持っておらず**，その日に**食べる物も十分にない**とします。 16 それなのに，皆さんのうちの誰かが，「**安心して過ごして**ください。**温かくして**，**たくさん食べて**ください」と**言うだけで**，**体に必要な物**を**その人に与えないなら**，**何の価値が**あるでしょうか。 17 同じように信仰も，行動が伴っていないなら，死んでいるのです。）②つ目に，***グループのみんなが精いっぱい伝道に取り組めるよう助けます***。グループ監督が熱い心で伝道に打ち込むことは大切です。特に週末の伝道に参加するようにします。グループの一人一人と定期的に伝道します。その機会に仲間を力づけ，伝道のスキルを磨けるよう助けます。自分が出られない時は，補佐かほかの兄弟がグループの伝道を見守るようにします。③つ目に，***グループの兄弟たちがさらに責任を担えるようにトレーニングします***。（テモ一 3:1 次の言葉は真実です。**監督になろうと努めている人**は，**立派な仕事を望んで**います。）兄弟たちがやがて援助奉仕者や長老になれるよう，心からの褒め言葉を掛け，聖書からアドバイスし，段階的にトレーニングしていきます。**長老団**は，こういう大切な務めをきちんと果たせる人を**グループ監督として**選びます。

グループ監督にできること

- 野外奉仕のための集まりは 7 分以内に終わらせて，みんながすぐに伝道に出掛けられるようにします。
- グループの奉仕の集まりになかなか出られない人を含め，グループの一人一人と伝道するようにします。グループの伝道とは別の曜日や晩の時間に一緒に伝道できるかもしれません。
- 定期的にグループの人全員の牧羊訪問をします。相手の家や王国会館やほかの場所でもできますし，電話や手紙でもできます。
- 持っている力を発揮してさらに責任を担えるように，兄弟たちをトレーニングします。
- **幾つかの野外奉仕グループが合同で集まり**を開くような時も，集まりの後，**自分の**グループの人たちがきちんと伝道に出掛けられるよう見届けます。

5. グループ監督はどんな大変さを感じることがありますか。

5 とはいえ，グループ監督としての奉仕には大変さもあります。ドイツのイェルク兄弟は，グループ監督だけでなく，会衆でほかのいろんな責任も果たしています。こう言っています。「やるべきことがたくさんあってバランスを取るのは簡単ではありません。グループの人全員ときちん

と連絡を取ろうと思っているんですが，結構大変です」。ウガンダに住む 70 歳のエイベル兄弟はこう言っています。「うちの会衆は長老も援助奉仕者もとても少ないので，グループの規模は比較的大きめです。それで全員を牧羊したくても，なかなか思うようにはいきません」。スリナムのオーベッド兄弟はこう言っています。「本当はもっと兄弟たちをトレーニングしたいんですが，時間も力も要りますし，すぐに結果は出ないので，どうしても後回しになってしまいます」。こういう難しさを感じる場合，どうしたらいいでしょうか。

6. 野外奉仕グループを小さめにしておくといいのはどうしてですか。

6 できれば野外奉仕グループは人数が多くなり過ぎないようにし，小さめにします。そうすれば，グループ監督は兄弟姉妹に気を配り，エホバとの強い絆を持てるよう助ける，という大事な役割を果たせます。会衆にグループ監督になれる長老が少ない場合はどうしたらいいでしょうか。長老団は一時的に援助奉仕者にその責任を任せることができます。

7. 長老が少ない場合も，グループの兄弟姉妹がきちんと世話を受けられるよう，グループ監督には何ができますか。（ペテロ第一 5:2）（写真も参照。）

7 長老が少ない場合も，グループの兄弟姉妹がきちんとした世話を受けられるように，グループ監督は補佐の兄弟のトレーニングに力を入れます。（ペテロ第一 5:2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく，神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)，不当な利益を得ようとしてではなく，真剣な態度で世話しましょう。を読む。）グループのいろいろな仕事を任せてやってもらえます。例えば，時々野外奉仕のための集まりの司会をしてもらえます。補佐の兄弟と，グループの兄弟姉妹の伝道の取り組みについて話し合ってください。一緒にグループの人を牧羊訪問するようにしましょう。訪問の前にも後にも，補佐の兄弟とよくコミュニケーションを取って，褒めたり，アドバイスしたりできます。そんなふうにきちんとトレーニングを受けていれば，やがてその兄弟はグループ監督になれるかもしれません。（テモ二 2:2 また，私から聞き，多くの証人によって**確かめられた事柄**を，**忠実な人たちに託し**なさい。そうすればその人たちは**十分に資格を得て，他の人を教えることができる**ようになります。）開拓者など経験を積んだ兄弟姉妹に，伝道のトレーニングを手伝ってもらうこともできます。例えば，経験の浅い人と一緒に伝道してもらえます。あるいは，会話の切り出し方，再訪問，聖書レッスンでの教え方など，伝道の特定の分野に苦手意識を持っている人をサポートしてもらったりもできます。では，私たち一人一人は野外奉仕グループにどんなふうに貢献できるでしょうか。3 つの方法を考えます。



長老は，野外奉仕の集まりの司会を任せたりして援助奉仕者をトレーニングする。（7 節を参照）

一人一人が野外奉仕グループに貢献するために

8. 野外奉仕グループに貢献するために何ができますか。（ローマ 1:12）

8 ***一緒に伝道する***。そうすれば「励まし合う」ことができます。（ローマ 1:12 いえ，むしろ，**皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合う**ためです。 を読む。）仲間と一緒に伝道すれば心強く感じますし，安全に奉仕できます。もし仕事の予定のせいでグループの伝道にあまり出られないなら，スケジュールを調整できないか上司に相談してみるのはどうですか。意外とすんなり希望を聞いてもらえるかもしれません。（ネヘ 2:4-6 すると王は言った。「どうしたいと思っているのか」。私はすぐさま天の神に祈った。 5 それから王に言った。「もし私が王の好意を得ており，王が良いと思われるのでしたら，私をユダに，父祖たちが葬られている都市に行かせ，そこを再建させてください」。 6 王は言った。（そばには王妃が座っていた。）「どれくらいの旅になるのか。いつ戻ってくるのか」。**王が許可してくれた**ので，私は**予定を伝えた**。）体調や年齢などの事情でグループの伝道に出られないなら，グループ監督に相談してみてください。きっと，Zoom でグループのみんなと集まって，手紙や電話で伝道できるようにしてくれるはずです。若くて元気でも，伝道に定期的に参加するのが難しいと感じているなら，まずはグループの誰かと約束して，毎週一緒に伝道するのはどうでしょうか。また，時間の使い方を見直して，もっと伝道に出られないか考えてみてください。（ロマ 12:11 **怠けたりせず，よく働**いてください。聖なる力によって**熱意に燃え**ましょう。エホバに一生懸命仕えてください。コロ 4:5 会衆の一員ではない人と接する際にはいつも賢く行動しましょう。**時間を有効に使って**ください。）エホバに祈って「行動するための意欲と力」をもらいましょう。（フィリ 2:13 神は**ご自分の望みを実現**させるために**皆さんを力づけて**くださいます。**行動する**ための**意欲**と**力**の**両方を与えてくださる**のです。）少し努力が要るかもしれませんが，グループのみんなと一緒に伝道するのは爽やかで楽しいものです。

9. どうすれば野外奉仕グループの中で温かい雰囲気をつくれますか。（ローマ 12:13）

9 ***家族のような温かい雰囲気をつくる***。そのために欠かせないのは「人をもてなすこと」です。（ローマ 12:13 神は**ご自分の望みを実現**させるために**皆さんを力づけて**くださいます。**行動する**ための**意欲と力**の両方を与えてくださるのです。 を読む。）例えば，伝道の集合場所として自分の家を使ってもらえるかもしれません。野外奉仕グループが順番に訪問講演者のもてなしをしているなら，そういう時にみんなで集まって一緒に食事を楽しみましょう。訪問講演者が食事に来られないとしても，グループで親睦を深める機会にできます。特別開拓者のサラ姉妹はこう言っています。「あまり気負わずにおもてなししています。大事なのはたくさん料理を作ることじゃなくて，みんなとよく知り合うことだと考えるようにしています」。グループの中に**家族のような温かい雰囲気**が生まれれば，みんなとの絆も，エホバとの絆も強くなります。（ネヘ 8:10 ネヘミヤは民に言った。「**行って，最上の(d*肥えた)ものを食べ，甘いぶどう酒**を飲み，**何も用意していない人に**は**食べ物を分けて**あげなさい。今日は私たちの主にとって聖なる日だからです。悲しんではいけません。**エホバからの喜び**は**皆さんの力(d*とりで)**となるのです」。使徒 20:35 私は，このように**真面目に働いて，弱い人たちを援助**しなければならないこと，また，主イエス自身

が述べた『**受けるより与える方が幸福**である』という言葉を覚えておかなければならないことを，あらゆる点で皆さんに示しました」。）

10. 伝道のスキルを磨くためにどんなことができますか。（格言 1:5; 27:17）（写真も参照。）

10 ***自分から学びに行く***。伝道したり教えたりするスキルを伸ばしていくと，宣教はもっともっと楽しくなります。では，どうしたらスキルを磨けるでしょうか。グループの開拓者や経験を積んだ兄弟姉妹に助けてもらえます。（格言 1:5 **賢い人は聞いて**さらに**教えを受け，理解力のある人は的確な導き(*巧みな指揮)を得る。**; 27:17 鉄が鉄を研ぐように，**人は友を研ぐ。**を読む。）どんな分野の伝道をもっと上手にしたいと思っているかをグループ監督に相談すれば，きっと喜んで力になってくれるはずです。ヘザー姉妹はどちらかというと人見知りなタイプですが，グループの仲間のおかげで伝道を楽しめるようになりました。こう言っています。「開拓者の姉妹に声を掛けて，一緒に再訪問に行ってもらうようにしました。姉妹がとても親切に再訪問のやり方を教えてくれたおかげで，聖書レッスンを始めることもできました。姉妹に助けてもらって本当に良かったと思っています」。一人一人，野外奉仕グループに貢献するためにできることはいろいろあります。



野外奉仕グループの人数が少なければ，仲間とよく知り合うことができ，一緒に伝道もしやすい。（10 節を参照）

野外奉仕グループと密に働くといいのはどうしてか

11-12. エホバとの強い絆を持つために，野外奉仕グループの仲間からどんなふうに助けてもらえますか。ウェンディー姉妹はどんなふうに助けられましたか。

11 ***エホバとの強い絆を持てる***。例えば，牧羊訪問してもらうと元気が出てきます。「**孤児**や**やもめ**」や**お年寄りの人**なども，野外奉仕グループを通してエホバの温かい愛を実感できます。（ヤコ 1:27 私たちの**父である神から見て，清く汚れのない崇拝の型(*宗教)**は，困っている**孤児**や**やもめ**を**世話**することと，自分を**世に汚されないように守る**ことです。テサ一 2:8 私たちは優しい愛情を抱き，皆さんに**神の良い知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えたい**と思いました。皆さんを**深く愛するように**なったからです。）いろんな分野の伝道のトレーニングを受けられます。兄弟たちであれば，会衆でさらに責任を担えるように，グループ監督からたくさん教えてもらえます。（テモ一 3:10 この人たちは，その**仕事にふさわしいか**どうか**(*資格があるかどうか)**，まず**試されなければ**なりません。**非難されるところがなければ**，奉仕者として仕えさせることができます。）

12 先ほどのウェンディー姉妹はこう言っています。「父の反対があったので，母はめったに週末のグループの伝道には行けませんでした。でも私は行けたので，伝道に出ると年配の開拓者の姉妹がまるで母親のように面倒を見てくれました。上手に伝道したり会衆のみんなと仲良く過ごしたりできるようにしてくれました。それに，グループ監督の兄弟が親身になって教えてくれたことが，今でも役立っています」。

13. 野外奉仕グループの仲間はどんなふうに心の支えになってくれますか。（写真も参照。）

13 ***心の支えになる***。野外奉仕グループの仲間と「協力し」て伝道すると友情が深まります。（フィリ 1:27 皆さんに勧めたいのは，ただキリストについての良い知らせにふさわしく振る舞うことです。そうすれば私は，皆さんに会いに行けるとしても離れているとしても，次のことを聞けるでしょう。皆さんが**同じ精神を抱いてしっかり立ち，一致して，良い知らせへの信仰を保てる**よう**協力し合って**いて，）人見知りでシャイな人も，小さい野外奉仕グループの中だと友達を作りやすいと思うかもしれません。（コリ二 6:13 それで，私たちの**愛情に応えて**，皆さんも**心を大きく開いて**ください。私はわが子に話すように話しています。）大変な時に支えてくれる友達がいると心強く感じます。病気の時，落ち込んでいる時，大切な人を亡くした時，グループの兄弟姉妹が力になってくれます。（テサ一 5:14 兄弟たち，さらに勧めます。秩序を無視する人に警告を与え，**気落ちしている人**に**慰めの言葉**を掛け，**弱い人**を**支え**，**誰に対しても辛抱強く**あってください。）この先，そんなふうに支え合える友達がますます必要になります。（マタ 24:21 その時，世界の始めから今まで起きたことがなく，いえ，**二度と起きないような大患難**があるからです）今の時代，**誰もが問題や悩み**を抱えています。でも，いつも優しく支えてくれる仲間がいると思うと，負けずに何とかやっていく力が持てます。（格 17:17 **真の友**はどんな時にも愛を示す。**苦難の時**に**頼れる兄弟**である。）



同じ野外奉仕グループの 2 人の姉妹が楽しそうに伝道に出掛けている。（13 節を参照）

14. 緊急事態の時，野外奉仕グループを通してどんなサポートを受けられますか。

14 ***緊急事態の時，助けてもらえる***。感染症の流行，自然災害，迫害，経済危機，緊急に医療処置が必要になった場合などに，野外奉仕グループを通して助けてもらえます。会衆の奉仕委員会とグループ監督は，特別なサポートが必要な人をどんなふうに助けられるか，前もって計画を立てています。*(例えば)*災害が起きると，グループ監督はグループの一人一人と連絡を取り，何を必要としているか知るようにします。食料，水，衣服，住む所があるか，医療の面でのサポートが必要かどうかなどを確認します。そうやってグループ監督は緊急事態の時もグループのみんなを確実に支えます。

15. エホバの家族はみんなでどんなことをしていますか。

15 エホバの家族はとても大きく，天には何十億もの天使たちがいます。地球には 900 万人以上のエホバの証人がいて，その数はどんどん増えています。（ゼカ 8:23 大軍を率いるエホバはこう言う。『その時，あらゆる言語の国々から来た 10 人の人が，1 人のユダヤ人の長い服(*服の端)をつかむ。しっかりつかんで，「あなたたちと一緒に行かせてほしい。神があなたたちと共にいる，と聞いたからだ」と言う』」。啓 5:11 さらに見ていると，王座と生き物と長老たちの周りにいる多くの天使たちの声が聞こえた。**天使たち**の数は**数万の数万倍**，数千の数千倍だった。）どこにいても，エホバの家族はみんなで力を合わせて王国の良い知らせを伝えています。（啓 14:6，7 また私は，別の天使が空高く(d*中天を)飛んでいるのを見た。その天使は，地上に住む人々，すなわち，あらゆる国や民族や言語や種族の人々に伝える，永遠の良い知らせを携えていた。 7 天使は大声でこう言った。「神を畏れ，神をたたえなさい。神による裁きの時が来たからです。天と地と海と泉を造った方を崇拝しなさい」。）これからも野外奉仕グループの仲間と密に働き，心を込めてエホバを賛美していきましょう。（詩 111:1 ヤハを賛美せよ(*ハレルヤ)！ 私は心からエホバを賛美する。 集まった正直な人の中で。）

何を学びましたか

１．野外奉仕グループの監督と補佐は、兄弟姉妹のためにどんなことをしていますか。

・S04　①グループの一人一人によく気を配り、②グループのみんなが精いっぱい伝道に取り組めるよう助け、③グループの兄弟たちがさらに責任を担えるようにトレーニングする。

・S07　グループ監督は補佐の兄弟のトレーニングに力を入れ、野外奉仕のための集まりの司会などいろいろな仕事を任せてやってもらう。補佐の兄弟と、グループの兄弟姉妹の伝道の取り組みについて話し合い、一緒にグループの人を牧羊訪問するようにする。

２．野外奉仕グループに貢献するために一人一人にはどんなことができますか。

・S08　一緒に伝道し、励まし合う。体調や年齢などの事情でグループの伝道に出られないなら、グループ監督に相談して Zoom を用いて手紙や電話の奉仕をしたりする。伝道に定期的に参加するのが難しいと感じているなら、まずはグループの誰かと約束して、毎週一緒に伝道するようにする。

・S09　人をもてなして、家族のような温かい雰囲気をつくる。伝道の集合場所としたり、訪問講演者のもてなしやみんなで集まって一緒に食事を楽しむのに、親睦を深めるために自分の家を使っていただく。エホバとの絆も強くなる。

・S10　開拓者や経験を積んだ兄弟姉妹に助けてもらい伝道したり教えたりするスキルを伸ばすために、自分から学びに行く。どんな分野の伝道をもっと上手にしたいと思っているかをグループ監督に相談し、援助してもらう。

３．野外奉仕グループの仲間と密に働くとどんないいことがありますか。

・S11　牧羊訪問してもらうと元気が出る。野外奉仕グループを通してエホバの温かい愛を実感でき、エホバとの強い絆を持てる。兄弟たちは、会衆でさらに責任を担えるように、グループ監督からたくさん教えてもらえる。

・S13　心の支えになる。野外奉仕グループの仲間と「協力し」て伝道すると友情が深まる。病気の時、落ち込んでいる時、大切な人を亡くした時など大変な時に、グループの兄弟姉妹が力になってくれる。支えてくれる友達がいるので心強く感じる。
・S14　感染症の流行、自然災害、迫害、経済危機、緊急に医療処置が必要になった場合など緊急事態の時助けてもらえる。会衆の奉仕委員会とグループ監督は、特別なサポートが必要な人をどんなふうに助けられるか、前もって計画を立てておく。例えば、災害が起きると、グループ監督はグループの一人一人と連絡を取り、何を必要としているか知るようにする。

61 番の歌 証人たちよ，進め！

^ 一部の名前は変えてあります。

^ 長老がいない場合，一時的に援助奉仕者がその役割を果たすこともあります。その兄弟は会衆の中で監督として働くわけではないので，グループ監督ではなくグループ援助者と呼ばれます。長老たちによく相談しながら働きます。

^ （詩 111:1） ヤハを賛美せよ*！ 私は心からエホバを賛美する。 集まった正直な人の中で。

または，「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

^ （詩 148:1， 2） ヤハを賛美せよ*！ 天からエホバを賛美せよ。 高い所で神を賛美せよ。 2 神の天使は皆，神を賛美せよ。 神の軍隊は皆，神を賛美せよ。

または，「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

^ （詩 148:12， 13） 少年も少女も， 年を取った人も若い人も。 13 皆がエホバの名を賛美せよ。 神の名は最も高く，誰も届かない。 神の威光は地と天の上にある。

^ （マタ 24:14） そして，王国の良い知らせは，全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます。

^ （格 27:23） 自分の羊の群れの様子をよく知っておくべきである。 羊をよく世話しなさい*。

または，「に心を留めなさい」，「に注意を払いなさい」。

^ （格 12:25） 心配事があると心が沈み*， 良い言葉によって心が晴れる。